

## 20210226 終業式校長訓示

みなさん、おはようございます。校長の井瀬です。

今回も、安全を考え、放送での挨拶といたします。

この一年は、遠隔授業も経験するなど、いろいろな授業の形態を経験しましたが、学校で身につけてほしい一番のことは、『生涯にわたって学びをつづける』という意識をもつことですので、どういう授業形態になろうとも、自ら学ぶ姿勢を鍛えてください。

終業式にあたり、校長からみなさんにお話したいことがあります。

勉強の関係と生活の関係の話は、教務主事と学生主事の先生方から話していただきますので、わたしはそれ以外の話をいたします。

1 つ目は、“高知高専だより”の話です。『いくつかのキーワードをもとに昨年を振り返り、今後を考えよう』を、今年も書きましたので、みなさん、読んでください。

昨年は、『22 世紀に向けて』と題して、かなり先の未来に向けての取り組みを書きましたが、手に負えない天気やウイルスのまん延を考えると、解決できる社会の実現に向けて今すぐ取り掛かろう、ということを書いています。

2 つ目は、春休みの過ごし方のことです。昨年のちょうど今、令和 2 年 2 月 24 日のことですが、「新型コロナウイルス感染症対策専門家会議」が開かれ、『ここ 1～2 週間が感染拡大か収束かの「瀬戸際」となる』との見解が示された日でした。1 年前はそんな時期でした。みなさん、覚えていますでしょうか。

それから 1 年が経ちます。昨年の春休みは、感染対策で大忙しで、みなさんも、じっくり落ち着いてものが考えられない春休みだったと思いますが、今年は、コロナへの対応も、だいぶん分かってきましたので、ここから 1 か月、じっくり取り組む課題を見つけて、春休みを過ごしてほしいと思います。

まだ課題を見つけていない人には、わたしから 1 つ、課題を出したいと思います。それは『最速降下曲線』という問題です。

高さの異なる 2 点、A 点と B 点があり、A から B へ滑り台をつくったとき、どんな滑り台をつくったら、A から B へ一番時間が短く到達できるか、その曲線を求めよ、という問題です。重力加速度は一定としましょう。また、滑り台とのまさつはないとしましょう。

実は、この問題は既に解かれています。日本では江戸時代になりますが、ヨーロッパにおいて、ヨハン・ベルヌーイが『みなさん、解けますか』と数学者たちに挑戦状を出した問題です。そうしたら、ライプニッツやニュートンやロピタルや、ヨハンの兄のヤコブ・ベルヌーイたちが解答を送ってきたそうです。そんな歴史的な問題です。

ニュートンは、夕方、仕事から帰ってきた後この問題を知り、次の朝が来る前には解いていたそうですが、みなさんは、1 か月ありますので、まだ、取り組む課題を見つけていない人は、この問題に、じっくり取り組んでみてはいかがでしょうか。

最後に、図書館の話です。今年の春休みはコロナの関係で図書館を閉館しましたが、今年の春休みは、図書館は開いていますので、どんどん借りにきてください。

また、みなさん知っていますように、図書館はリニューアルします。春休みの1 か月間、図書を借りることができますが、4 月初めに登校した時、返却を必ずお願いいたします。

返却がないと、新しい図書館が開けませんので、みなさん、遅れないようにお願いいたします。

みなさんにたくさんお願いしましたが、一人ひとり、コロナに気を付けて体調管理に努め、春休みを過ごしてください。

以上です。